

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	26	家族との定期的なカンファレンスの機会を設け、じっくり座って会話をし家族の思いを汲み取り、介護計画に活かすことができればさらに良いと思われる。	カンファレンス月の面会時にお時間をいただき、ご家族様とゆっくりお話しし、ご意向などお聞きしプランに活かすようにする。	3ヶ月ごとのカンファレンス予定をお知らせし、カンファレンス月には話し合う機会をいただける様に、前もってお知らせさせていただく。	2ヶ月
2	6	利用者の安全を守るためにやむを得ず安全ベルトや4点柵を使用するときは、一時的とし、常態化しないようそれに代わる介護方法の模索が今後も望まれる。	身体拘束が1つでも減らせるように、全体で取り組む。	月1回の身体拘束委員会において話し合い、それを全体会議で提案し、全員が周知できるようにする。	2ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目の を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。